

失敗しないために
マネー会議を開くべし

家族進学マネー

大学受験・進学スケジュール例 と費用準備のポイント

高校3年生

¥…お金が必要なタイミング

4・5月	●教育資金の確認・検討 〈春募集〉奨学金予約採用 申し込み	
6・7月	この時期に 家族で マネー会議を	申し込み期間
8月		
9月	●教育ローンの申し込み ※資金が必要になる3か月前が目安 ●総合型選抜・出願 ●大学入学共通テスト各自Web出願	
10月	●一般選抜・学校推薦型選抜 ・入試要項取り寄せ 奨学金「採用候補者決定通知」	
11月	●国立・私立大学 学校推薦型選抜・出願 ●総合型選抜・合格発表 開始～入学手続き ※一般選抜よりも入学手続きが早い	
12月	●学校推薦型選抜・合格発表 開始～入学手続き ※一般選抜よりも入学手続きが早い ●私立大学一般選抜・出願	通知の 交付期間
1月	●大学入学共通テスト ●国立大学個別学力検査 ・出願	
2月	●私立大学一般選抜・合格発表 ～入学手続き ●国立大学前期試験	
3月	●公立大学中期試験・合格発表 ～入学手続き ●国立大学後期試験、 前期・後期合格発表～入学手続き ●新生活への準備	
4月	●大学入学 ●奨学金「進学届」の提出 ●給付奨学金対象者は授業料等 減免の申し込み ●在学採用の申し込み	
5月	●奨学金支給開始 ※進学届提出時期により多少前後します 奨学金は入学手続きには 使えません。	

お金のことを、家族でオープンに話していますか？

高校生にとって、進路選択は自分の将来を決める大切な決断です。子どもの考えを尊重し、悔いのない選択をさせてあげたい——多くの保護者がそう願っているのではないのでしょうか。

一方で、大学進学にはまとまったお金がかかります。国公立か私立か、文系か理系か、自宅通学か下宿かによって、必要な費用は大きく異なります。どれだけ努力して志望校に合格しても、受験期になって資金の準備ができていなければ、選択肢は限られてしまいます。

そこでお勧めなのが「家族進学マネー会議（以下、マネー会議）」。

子どもの気持ちと希望する進学先の費用、家計の現状を親子で整理し、進学費用のプランを立てる話し合いです。なるべく早い段階で行うことで、無理のない準備がしやすくなります。もし費用が不足しても、奨学金や教育ローンといった選択肢があります。お金のことをオープンに話し合うことで、家族の信頼関係が深まり、進路の可能性も広がるはずです。

「貯蓄の切り崩し」は、やり過ぎに注意

マネー会議では、子どもの意思と家計の現状をふまえ、教育資金をどう準備するか考えます。収入だけで足りない場合、貯蓄から支出することも一つの方法ですが、生活防衛資金とのバランスを考えずに使い過ぎるのは禁物です。老後資金への影響もふまえ、慎重に検討することが大切です。

一方で、収入や貯蓄が少ないからといって、最初から進路を限定してしまう必要はありません。国の奨学金制度（日本学生支援機構＝JASSO）をはじめ、大学や自治体独自の奨学金、教育ローンなど、進学を支える制度は数多くあります。利用できる制度を調べながら、現実的な選択肢を探っていきましょう。

家族でお金について話し合う3つのメリット

- ① 子どもと進路について、
本音で話し合える
- ② 希望の進路をかなえるための
準備ができる
- ③ 不測の事態が起きても、
プラン変更がしやすい

※奨学金…表内に記載の奨学金は「日本学生支援機構」の場合。スケジュールは暫定版であり、変更となる場合があります。

※給付奨学金に関しては、退学後に別の学校に入学する場合（編入を除く）、あらかじめ申し込むことはできません。

大学1年生

右の二次元コードから大学パンフ10校以上取り寄せで

最大2万円分の図書カード JCBギフトカード 抽選プレゼント



キャンペーンの詳細はこちらをチェック

会議のススメ



子どもとよい話し合いをするための
コツを動画でも解説してます！

<https://qrtn.jp/53a8q>

マネー会議のコツ

お互いの考えを正直に話す

会議では、隠し事や遠慮はせず、素直に話しましょう。子どもは自分の気持ちを、保護者は家計やこれからのお金の計画を正直に伝えることが大切です。



相手を否定しない

子どもが話したくても、すぐに否定されると話しくなくなります。まずはじっくり話を聞いて、気持ちや現状をしっかりと確認しましょう。

すぐに諦めず、調べてみる

費用が足りないと感じても、諦めるのはまだ早いです。**どんな奨学金や支援制度があるのか**、まずは調べてみましょう。

さまざまな奨学金

■独立行政法人日本学生支援機構(JASSO)

JASSOが取り扱う奨学金は、多くの学生が利用しています。返還が必要な貸与型と、原則返還不要の給付型があり、それぞれ選考の基準が違います。

■各大学

大学ごとに奨学金制度も多数あり、給付型が多く、地方の受験生は「入学前予約型給付奨学金」を予約できる場合があります。費用面で「国公立大学しか……」と考えがちですが、こうした奨学金を活用すれば、**国公立と同程度の費用で私立大学への進学も可能な場合**もあります。

■地方公共団体

地方自治体が独自に設ける奨学金は、無利子の月額貸与が多いですが、他の奨学金との併用ができない場合もあります。お住まいの地域の制度を調べてみてください。

■奨学金事業団体

企業や民間団体が運営する奨学金も多数あります。あしなが育英会や新聞社などが代表例です。企業独自の制度や特徴があるため、奨学金検索サイトなどで確認しておくのがお勧めです。

重要なポイント

- ① 奨学金には「もらう(給付型)」と「借りる(貸与型)」の2種類があります。
- ① 高校在学中に申し込めるJASSOの予約採用は、後から辞退も可能なので、まずは申し込んでおくと安心です。
- ① 申し込み期間は高校によって異なります。必ず在学中の高校に確認しましょう。

大学パンフ7校以上取り寄せると

進学費用を決めるには、まず大学選びから

学費や奨学金は大学ごとに異なります。まずは大学パンフを取り寄せて、比較してみましょう。



スマホから気軽に

※読み取れない場合は、下記URLからアクセスしてください。
<https://qrtn.jp/8vdf6>

① 抽選で当たる!



A JCBギフトカード
1万円×30名



B 図書カード
1000円分×100名



C 図書カード
3000円×50名



D 図書カード
1万円×10名

さらに Wチャンス! / パンフ取り寄せ早期キャンペーン

② 5/29までに10校以上取り寄せると①に加えて
30名様に1万円分のJCBギフトカードを抽選でプレゼント!



家族進学マネー会議 ワークシート

「家族の進路会議
コミュニケーション
シート」も参考に
しましょう！

子どもの進路とお金を、今わかる範囲で整理してみましょう。
書き出してみると、無理のない準備の方向が見えてきます。

STEP 1 希望進路の確認

まずは、**子どもの希望進路を確認**します。特に費用のプランニングの基になる以下の項目について、じっくりとヒアリングを。希望がはっきりしない場合は、保護者の思いやアドバイスも交えながら、理想の進路を一緒に探っていきましょう。

- ・第1志望校 国立 公立 私立 _____ 大学 _____ 学部
- ・大学に行きたい理由 _____
- ・併願校 (_____)校 ・希望する選抜方式 一般 学校推薦型(公募推薦含む) 総合型
- ・通学 自宅 下宿(一人暮らし) 寮
- ・留学 なし 短期(～3か月未満) 中期(3か月～1年) 長期(1年以上)

STEP 2 かかる費用を調べる

受験から大学卒業までにかかる費用を、大学のWebサイトや大学パンフ、本誌の**こちら**を参考に書き込んでいきます。志望校によって金額に幅がある場合は、高めの想定で見えておくと安心です。

	項目	内容	金額(万円)
受験期	塾・通信講座などの受講費用		
	オープンキャンパス参加費用	交通費・宿泊費	
	大学入学共通テスト検定料	教科 ※2教科以下1.2万円、3教科以上1.8万円	
	国公立大学個別入試検定料	万円 × 校 ※1校当たり1.7万円	
	私立大学検定料	万円 × 校 ※目安は1校当たり3.5万円	
	共通テスト利用入試	万円 × 校 ※目安は1校当たり1.5万円	
	受験時の交通費・宿泊費		
合格～入学まで	初年度納付金* (入学手続き時納付額)	入学金、1年次前期分授業料、施設・設備費	
	併願校の初年度納付金* (入学手続き時納付額)		
	入学時の費用	教科書・教材費、住まい探しの費用、入居時の費用、家具・家電購入費	
卒業まで	学費	1年次後期分	
		2年次以降	万円 × 年
	生活費 (下宿や寮も含める)	月平均	万円 × 年
	留学費用		
	その他	運転免許取得費用、旅行費用、就活費用など	

▼奨学金で賄えるのは入学以降の費用です。

*初年度納付金の内訳は大学によって異なりますので、必ず確認しましょう。

☆一人暮らしのお部屋探しはこちらもご覧ください。

合計① _____ 万円

うち、受験期から入学までに
必要な金額 _____ 万円

このページのワークシートと、タイプ別の記入例
(私立大学・自宅、国公立大学・自宅外)をこちらからダウンロードできます。



<https://qrtn.jp/iera2>

STEP 3 家計の現状を洗い出す

家計から支出できるお金を見積もります。きょうだいの有無や家計の状況などによって大きく変わるので、**最低限これだけは出せるという金額**を設定しましょう。

項目	内容	金額(万円)
現在の貯蓄(教育目的)		
学資保険など	満期保険金の受け取り時期 年 月 日	
その他		

祖父母、親族からの援助などがあれば記入しておきましょう。

合計(②) _____ 万円

STEP 4 資金の見込みを確認する

足りない金額を算出し、補う方法を検討します。**奨学金は初年度納付金など入学前に必要な費用には使えません。**また、給付型奨学金は採用条件があるため、見積もる際は慎重に。アルバイトは学業に支障のない範囲にとどめましょう。

不足額(①-②) _____ 万円

・差額を補う方法をチェック!

項目	内容 ※月額はおおよその金額でOKです	金額(万円)
給料から支出できる分(保護者)	月額 万円 × 年	
日本学生支援機構奨学金(学生)	月額 万円 × 年	
教育ローン(保護者)	一括 ※必要時期の2~3か月前には申し込む	
アルバイト(学生)	月平均 万円 × 年	

STEP 5 返済計画を考えよう

STEP4をふまえて、具体的な月々の返済額を算出しておきましょう。例も参考に、**無理のない返済計画を立てる**ことも大切です。

日本学生支援機構のWebサイトでシミュレーションを!



・日本学生支援機構奨学金 → 卒業してから約半年後に返還が始まる

貸与利率*	貸与月額	貸与総額	返還期間	毎月の返還額
			(年 月 ~ 年 月)	
(例) 利率固定方式3%	80,000円	3,840,000円	20年 (2031年10月~2051年9月)	21,531円

*適用利率は貸与終了時に決まる。最新の利率(2026年1月時点)2.512%の場合の月々の返還額は20,567円。上記は上限の3%で試算。

・教育ローン → **すぐ(1~2か月後)返済が始まる** *元金据置を選ぶと、在学中は利息のみ支払い、卒業後に元金・利息を返済

返済方式 / 借入時期	金利	借入額	返済期間	毎月の返済額
			(年 月 ~ 年 月)	
(例) 元利均等返済 / 2~3月	固定金利3.55%	1,000,000円	10年 (2027年4月~2037年3月)	10,000円
(例) 元金据置* / 2~3月	固定金利3.55%	1,000,000円	10年 (2027年4月~2037年3月)	在学中3,000円 卒業後15,500円

※例は国の教育ローンの場合。国の教育ローンでは、連帯保証人を立てない場合、返済総額とは別に保証料がかかり、融資時に一括で差し引かれます。※金利は2026年1月時点の情報。